

One day treatment by CEREC ～特徴と臨床の実際～

船越歯科医院勤務 笹田 雄也 (32期生)

はじめに

近年の接着材料の飛躍的進歩、メタルフリー修復の定着を受け、歯科用CAD/CAM機器を使用したオールセラミック修復が本格化している。

その中でもCERECは、従来のコンポジット修復と同様の即日修復 (One day treatment) を最大の特徴とし、歯科医師自身がチェアサイドで応用できるCAD/CAMシステムであり、間接法による他のシステムとは一線を画すものとして位置づけられている。

今回はCERECシステムについて、そのコンセプト、長期予後や適合などの文献、そして臨床手順などを通して解説させていただいた。

CERECのコンセプト (Megafiller, One day treatment)

i) Megafiller (コンポジットの重合収縮の問題を解決)

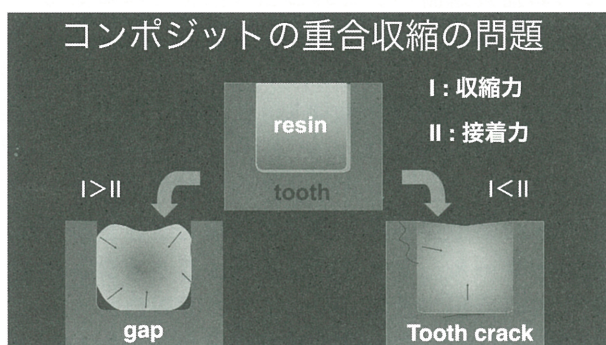


図1 大量のコンポジットを使用した場合には、重合収縮によるコントラクションギャップやマイクロクラックが生じる危険がある。

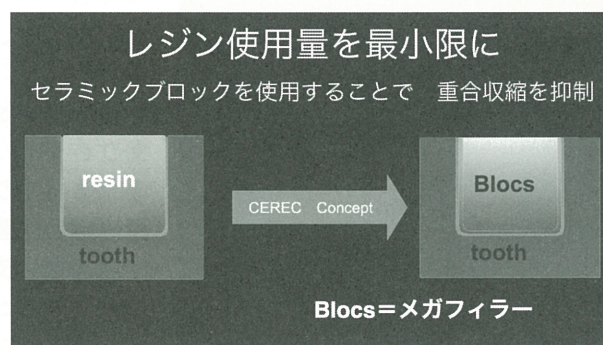


図2 セラミックブロックをMegafillerと考え、レジンの使用を最小限に抑えることにより重合収縮の問題を解決する。

ii) One day treatment (即日修復)

間接法を用いた従来の方法と比較して、様々な利点がある。代表的なものとして、暫間修復期間がないことによりプラーク、出血、仮着セメントなどの接着阻害因子が存在しないということが挙げられる。汚染がない新鮮象牙質を利用して良好な接着を行えることで、従来の間接法オールセラミック修復と比較して高い予知性が得られる。

また模型上でのバイト材の浮き上がりによるズレなどのテクニカルエラーを軽減でき、対合歯の挺出や隣在歯の移動もないことなどにより、調整量が極めて少ない補綴物が提供される。暫間修復中のエナメルチップングがない。麻酔の回数を削減できる。

その他、経済的メリット (印象材、石膏が不要で、ランニングコストが安い) もある。